

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 28 年度 第 4 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 28 年 8 月 29 日(月) 18:30~20:00	
会 場	横浜市健康福祉総合センター 9 階 小会議室 904	
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク	河西(運営委員長)
	金沢区災害ボランティアネットワーク	外山(副運営委員長)
	公益財団法人横浜YMCA	小林
	南区災害救援ボランティアネットワーク	高松
	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	川名
	磯子区災害ボランティア連絡会	小原
	泉区災害ボランティア連絡会	乾
	瀬谷区災害ボランティアネットワーク	篠
	オブザーバー:横浜市市民局市民活動支援課 西島係長	
	事務局:横浜市ボランティアセンター 吉寄、船水、別田	

【議題 1. 市社協職員熊本地震災害派遣報告】 別紙参照

<事務局 吉寄課長、船水より報告>

- ・現地調査とマッチングを中心に活動してきた。
- ・派遣先は西原村。
- ・西原村災害ボランティアセンターの組織体制は、7つのグループに分かれおり、技術スキルをもっている団体の受け入れをする「調整グループ」や、専門機関と連携してニーズ調査等を行う「生活支援グループ」などがあった。また7つの組織体制とは別に、農業ボランティアの受入窓口も同じ災害ボランティアセンター内にあった。
- ・様々な支援団体が入っている状況であり、団体同士の意識の統一には難しさを感じたこともあったが、派遣された社会福祉協議会の職員同士は連携しやすかった。
- ・西原村は人口約 7,000 名、約 2,600 世帯、高齢化率は 26,7%である。西原村社会福祉協議会は職員が全員で 30 名、うち 2 名が管理職。ほとんどの職員が介護系職員で、3 名が総務系であった。総務系が災害ボランティアセンターを担うが、実際には人員が足りない。
- ・ボランティア募集など facebook で周知するが、実際にそれを見てボランティアに来てくれるかどうかは分からず、天気によってもボランティアで来る人数が左右されるので、ボランティアの人数のコントロールが難しかった。
- ・お盆期間中に災害ボランティアセンターを休止していた社会福祉協議会は、休止にする理由も添えてホームページ等に掲載していた。(例:被災後の初めてのお盆であり、職員も被災者で供養をする為) 情報発信の際の表現も重要になると感じた。
- ・横浜で大規模災害が発生した時に、実際にボランティアは横浜市ボランティアセンターを目指してくることが想定される。駆けつけてくれたボランティアを区にどのようにつないでいくか、区との情報のやり取りはどうするのか、など、課題が見えてきた。

【議題 2. 支援者向けコーディネートスキルアップ研修について】 資料 2参照

- ・資料に沿って事務局より説明。
 - ・例年は 19:00~20:30 の開催だったが、今年は 18:30~20:30 とする。
- (意見)
- ・災害ボランティアセンターを支援する団体や仕組みについて講演いただくが、講師の JVOAD 事務局長明城

氏は NGO 団体での活動も長い方なので、そのような団体と社会福祉協議会がどう関わるのか、という内容にするために、当日はコーディネーター役として誰か社会福祉協議会職員が加わった方が良いのでは。

【報告事項】

(南区災害救援ボランティアネットワーク)

- ・ 8/23 に A ブロック会議を実施。今後の活動について話し合いをした。A ブロックだけでなく、ブロック以外の隣接している区との連携・共有することが必要ではないか、という話がでた。まずは A ブロック内での連携を図り、その次に他の連携を進めていく、ということを考えていきたいが、A ブロックはまだ内部の連携が進んでいない。
- ・ A ブロックは災ボラがない区も 2 区あるが、基本に戻った連携をしていきたい。

(保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク)

- ・ 災ボラの周知の機会として、区民まつりに出展するが、現在企画中。

(泉区災害ボランティア連絡会)

- ・ 4/19、9/2 に C ブロック会議を実施。
- ・ 11/3 に行なわれる泉区民ふれあい祭りに参加するため、準備をしている。

(金沢区災害ボランティアネットワーク)

- ・ 10 月に B ブロック会議を予定している。前回の B ブロック会議の続きで D i g 訓練をしようという意見も出ているが、まだ決まっていない。
- ・ 9 月 17 日～18 日に防災キャンプを実施予定。

(瀬谷区災害ボランティアネットワーク)

- ・ 学校の夏休み期間中に、釜石市へボランティアバスを出した。小学生 3 名、高校生 17 名、一般 10 名＋事務局や地区センターの方など、全 41 名で実施。3,4 年同じ活動をしており、仮設住宅へも毎年同じところに支援をしている。

(公益財団法人横浜 Y M C A)

- ・ 9/23～ワークキャンプを実施予定で、参加者を継続して募集中。

(鶴見区災害ボランティアネットワーク)

- ・ 9/4 地域防災拠点で、トランシーバーを使って情報訓練を実施予定。

次回：10月17日(月)18：30～ 横浜市健康福祉総合センター 9階 小会議室 902